

施策名	大 事 項	地球温暖化対策に対する取組み	交通政策部
	中 事 項	環境負荷の小さい交通体系の構築	
	小 事 項	公共交通機関の利用促進 [交通バリアフリー施策の推進]	

施策の概要

わが国の急速な高齢化や障害者の自立と社会参加の要請に適切に対応し、高齢者、障害者等が公共交通機関を安全かつ円滑に利用できるために、手助けしやすい環境づくりを行うことが求められている。
このため、小学生等を対象にバリアフリー教室を開催し、高齢者や障害者等の疑似体験及び介助体験等を行うことで、バリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、困っている人を見かけたら「お手伝いしましょうか」と声かけ、お手伝いできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指す。

27年度の計画

バリアフリー教室の開催

日 程	会場名	開 催 場 所	参 加 者 等
5月	熊本市	熊本県立盲学校	幼児・小学生・中学生・高校生
7月	熊本市	熊本新港ターミナル	小学4年生
9月	福岡市	九州運輸局	九州運輸局新採職員
11月	佐賀市	佐賀市内小学校	小学4年生
11月	佐世保市	佐世保港ターミナル	旅客船従業員等
11月	鹿児島市	鹿児島港ターミナル	旅客船従業員等

26年度の実績と評価

バリアフリー教室の開催

平成26年度は、バリアフリー教室を5回実施した。参加者総数は308名。
対象者は小学生が主体であるが、九州運輸局職員、旅客船従業員等に対するバリアフリー教室を開催した。また、各教室とも地域の社会福祉協議会等と連携して開催するなど、体験内容やモードの充実を図った。

開 催 年 月 日	開 催 場 所	参 加 者 等
平成26年 8月28日	九州運輸局	九州運輸局 職員 6名
平成26年10月 9日	九州技術事務所	小学4年生 61名
平成26年10月21日	九州技術事務所	小学4年生 110名
平成26年11月11日	佐賀市立東与賀小学校	小学3年生 95名
平成26年11月15日	鹿児島港ターミナル	旅客船従業員等 36名



車いす体験



高齢者疑似体験



視覚障害者疑似体験

九州では、初めてとなる旅客航路従事者を対象としたバリアフリー教室を開催し、受講者からは、バリアフリーの大切さを学んだ、介助方法や知識の習得ができた等の声が寄せられ、好評であった。